

中国前衛美術史年表

編：柏木聖子

凡例

1. 本年表は、中国前衛美術史における本展出品作家に関する事項を中心に編んだものである。
2. 美術の動向は（ゴシック体）、社会の動向は（明朝体）を用い、区別した。
3. 中国を中心とする社会・美術の動向は、中国の政治、一般情勢、中国国内での主な動向と展覧会、海外で開催した中国前衛美術展覧会など、本展出品作家を中心に記載し、日本を中心とする社会・美術の動向には、（★）を付し各年ごとの末項に記した。
4. 展覧会の記載は、以下のような表記とした。ただし、会場名に都市名が含まれる場合は、都市名を省略している。

展覧会名（副題）（会場名、都市名）。＊特記事項。＊本展出品作家。

5. 編纂にあたって、主に次の文献を参考にした。

牧陽一著『アヴァン・チャイナー中国の現代アート』木魂社 1998年9月
魯虹著『越界 中国先鋒芸術 1979~2004』河北美術出版社 2006年1月
暮沢剛巳・足立元編『日本近現代美術史年表』『美術手帖』第866号、2005年7月
作成にあたり、牧陽一氏ならびに東京画廊から貴重な資料をご提供いただいた。
記して以て謝意を表する。

年 月

1942		・毛沢東『延安における文学藝術座談会での講和』が、後の中国の文学藝術政策の基本綱領となり、「毛沢東様式」の革命的リアリズムが中国全土の藝術形式となる（～79年）。【図1】
1949		・中華人民共和国の成立。
1950 2		・中ソ友好条約が締結。
1958		・「大躍進」運動が始まる（～61年）。
1966		・「文化大革命」が始まる（～77年）。

*

1976 1		・周恩来首相、死去（享年78）。
4		・四五天安門事件（第一次天安門事件）。
4		・黄銳が、天安門広場で周恩来追悼、四人組批判の詩を発表し、逮捕拘留される。 →後に釈放。
7		・唐山大地震（死者24万人、重傷16万人）。
9		・毛沢東主席、死去（享年83）。
10		・張春橋、王洪文、江青、姚文元、「四人組」として逮捕される。
10		・華國鋒、党主席に就任。
12		・大学教育が復活。

★ロックード事件

1977		★ポンピドゥー・センター開館 ★東京国立近代美術館で戦争画の一部公開開始
------	--	---

1978 8		・日中平友好条約を調印。
12		・鄧小平体制が確立。文革路線から改革開放路線へ。
12		・文学雑誌『今天』の創刊（～80年9月）。「星星画会」メンバーの黄銳が表紙デザイン、艾未未・鍾阿城・曲磊磊などが挿絵を担当。
		・書籍見本市が北京、上海で開かれる。西欧でのセザンヌ以降の美術の動向が明らかとなり、特にマルセル・デュシャンが注目される。
		★成田空港開港

1979 1		・アメリカと国交樹立。
1		・雑誌『美術』が、第一次天安門事件を反映した美術作品を初めて掲載。
		・文革時代を主題とした「傷痕」「郷土」リアリズム作品が現れ始める。【図2・3】
2		・中越戦争。

- 9 ・第1回星星美術展（9月27日～10月3日、中国美術館東側空き地）。28日に警察が介入し、馬徳昇と黄銳が連行される。29日に野外展の禁止を通告され、警察に作品が差し押さえられる。
- 10 ・「星星画会」メンバーが、政府の介入に対して、中国建国以来初めての民間抗議デモを行う。王克平は、「要政治民主、要芸術自由」の幟幕を掲げる。【図4】
- 11 ・第1回星星美術展の継続展（11月23日～12月2日、北海公園の画舫齋）。
- 11 ・アジア美術展（第1部近代アジアの美術—インド・中国・日本—）（福岡市美術館）。
- 12 ・北京西單の「民主の壁」が閉鎖される。
・コカ・コーラが中国市場に再参入。
★イランでイスラム革命
★ソ連のアフガニスタン軍事侵攻

1980 3		・栗憲庭による雑誌『美術』が、星星美術展についての特集を組む。
5		・経済特別区の設置決定（深圳、珠海、汕头、廈門、海南）。
6		・第39回ヴェネツィア・ビエンナーレ。＊中華人民共和国が初出品。
8		・第2回星星美術展（8月24日～9月7日、中国美術館）。【図6】 延べ8万人の観客を集め、中国美術館開館以来の最高動員数を記録した。 ・夏頃に星星画会が正式に結成される。
11		・アジア美術展（第2部アジア現代美術展）（福岡市美術館）。 ★イラン・イラク戦争勃発 ★第1回ハラ・アニュアル（原美術館）

1981 9		・葉劍英、台湾統一九項目を提案。 ・艾未未（星星画会）は、アメリカに滞在（～1993年）。
		★スペースシャトル・コロンビア号初飛行 ★1950年代〈その暗黒と光芒〉（東京都美術館）

1982 9		・胡耀邦、共産党中央總書記に就任。 ★ニュー・ペインティング現象が上陸 ★横尾忠則が画家宣言
--------	--	--

1983 8		・王克平、馬徳升、黄銳の三人展（8月14日～8月21日、北京市宣武区自新路小学校）。19日に公安当局に閉鎖される。
10		・江蘇青年藝術周・大型現代藝術展（江蘇省美術館）。＊美術グループ「紅色・旅」が結成される契機となった展覧会。 ・反精神汚染キャンペーン始まる。 ★東京ディズニーランド開園 ★HIVウイルス発見 ★「ニューウェーブ」と呼ばれる若手作家台頭

1984 4		・ロナルド・レーガン米大統領が中国を訪問。 8 ・嚴力の個展（上海人民公園展覽会ホール）。
10		・嚴力、楊益平、馬徳升の三人洋画近作展（北京労働人民文化宮）。 ・黄銳、日本に移住。 ・王克平（星星画会）は、フランスへ移住。 ★アップル社が「マッキントッシュ」を発売 ★NHKが衛星テレビ放送を開始 ★ヨーゼフ・ボイス展（西武美術館）、ナムジュン・パイク展（ヴィデオ・アートを中心に）（東京都美術館）など、パフォーマンスの隆盛 ★ローリー・アンダーソン来日公演（ラフォーレ赤坂）

1985 4		・油画藝術討論会（通称「黄山會議」）が開催され、表現の大幅な自由が保障される。中国芸術研究院美術研究所、中央美術学院、北京画院、美協安徽分会、『美術史論』編集部の共同主催。
6		・人民公社の解体が全国で完了。
11		・ラウシェンバーグ作品展（中国美術館、北京）。＊この展示を機に、中国美術界でポップ・アート旋風が起こる。

11 ・第2回アジア美術展(福岡市美術館)。

- ・嚴力が、留学しアメリカを中心に活動。
- ・黄永砦が、『無規則な指示通りに制作された四枚の絵画』(cat.no.01)《円盤》(cat.no.02)を制作。
- ★つくば科学万博開催
- ★電電公社、専売公社の民営化
- ★任天堂「ファミリーコンピュータ」大ヒット

1986 2 ・吳山専らが、グループ「紅色幽默」を結成。紅白黒展を開催。【図7】
5 ・'85新空間展に参加した主要メンバーで、グループ「池社」を結成。
8 ・丁方・楊志麟・徐累・沈勤により、江蘇超現実主義絵画グループ「紅色・旅」が結成される。【図8】
9 ・南方芸術家サロン第一回実験展(広州中山大学)。
11 ・現代芸術展(廈門市新美術館)。*廈門ダダ《焼却イベント》。
11 ・太原現代陶芸展。*宋永紅・宋永平がパフォーマンスを行った。

- 11 ・包扎一国王与王后展。*「池社」の耿建翌、張培力。
12 ・観念21芸術展観(北京大学)。*魏光慶・馬六明ら《自殺計画》(武漢)。フィルム《大地震》(温普林脚色・演出、丁彬制作)。盛奇らの《観念21》。
12 ・学生民主化運動が起こる。
12 ・蔡國強が来日する。以後95年まで日本在住。
・西洋近代思想の著作が大量に翻訳され紹介される。
・思想界に文化批判ブームが起こる。
・馬德升(星星画会)が、パリに移住。
・王廣義が、《ポスト古典 - 同時受胎告知》(cat.no.08)を制作。
★チエルノブイリ原発事故
★Japon des Avant gardes 1910-1970 (Centre Georges Pompidou)

1987 1 ・視覚芸術展(上海曲阳路592号504室、上海)。*丁乙。
5 ・「紅色・旅」による「第一驛」画展。*グループ宣言「紅色・旅箴言」を発表。『美術思潮』(1987年第1期)に掲載。
11 ・趙紫陽、共産党中央總書記に就任。
11 ・黄永砦が、《爆竹のついたズボン》(cat.no.05)を制作。
12 ・黄永砦が、『中国絵画史』と『現代絵画簡史』を洗濯機で2分間攪拌した』(cat.no.03)を制作。
・反自由化運動が起こる。
・触覚小組が結成される。主要メンバーは王魯炎と顧德新。
・黄永砦が、《ダヴィデ》(cat.no.04)を制作。
・王廣義が、《無題(赤い格子の後ろの聖母)》(cat.no.09)を制作。
・Beyond the Open Door(Pacific Asia Museum, Pasadena, USA)。
★張培力。
・星星六人展(アートウェイブズギャラリー、ニューヨーク)。
・星星資料展(ハーバード大学文化センター、ボストン)
・ルーツ芸術(1987~1989):84年前後に登場したルーツ文学と共にした方向性を持つ。西欧モダンアートを安易に受け入れず、伝統への立ち返り、汎東洋神秘主義を重視した。呂勝中、徐冰など。
・鍾阿城(星星画会)が、アメリカに渡る。
★国鉄の分割民営化とJR誕生
★安田火災海上保険(現損保ジャパン)がゴッホの《ひまわり》を53億円で落札

1988 1 ・台湾(中華民国)總統の蔣經国が逝去し、副總統の李登輝が總統に昇格。
10 ・徐冰版画芸術展、呂勝中剪紙芸術展(中国美術館、北京)。*徐冰は、『折世鑑』(1988年)で中国芸術界にセンセーションを巻き起こした。【図9】
・邵飛(星星画会)が、アメリカに渡る。
・黄永砦が、《中国美術館を引っ張る》(cat.no.06)を制作。
・張培力が、《30×30》(cat.no.19)を制作。
・触覚小組が、《触覚芸術》(cat.no.36)を制作。
・新刻度小組が結成される。メンバーは陳少平と王魯炎と顧德新。
★ソウルオリンピック
★青函トンネル開通
★瀬戸大橋開通
★ヴェネツィア・ビエンナーレでアペルト部門スタート



図1

董希文《開國大典》油彩、1953年
出典:鄒躍進編『毛澤東時代美術(1942-1976)』
(廣東美術館、湖南美術出版社、2005年10月)



図2

程叢林《1968年×月×日雪》油彩、1979年、中国美術館蔵
出典:呂澎・易丹著『中国現代芸術史』
(湖南美術出版社、1992年5月)



図3

羅中立《父親》油彩、1979年、中国美術館蔵
出典:呂澎・易丹著『中国現代芸術史』
(湖南美術出版社、1992年5月)



図4

1979年「星星事件」に対する抗議デモ行進
出典:高名路著『'85美術運動歴史資料集編』
(広西師範大学出版社、2008年1月)



図5

王克平《偶像》木彫、1979年
出典:魯虹著『超越 中国先鋒藝術 1979-2004』
(河北美術出版社、2006年1月)



図6

黃銳《Seamstresses in a street production unit》
油彩、1980年
出典:黃銳編『HUANG RUI THE STARS TIMES
1977-1984』
(THINKING HANDS + GUANYI CONTEMPORARY ART
ARCHIVE、2007年)



図7

吳山専《今天下午又停水》墨彩・廣告彩・宣紙、1986年
出典:呂澎著『20世紀中国芸術史』
(北京大学出版社、2006年12月)

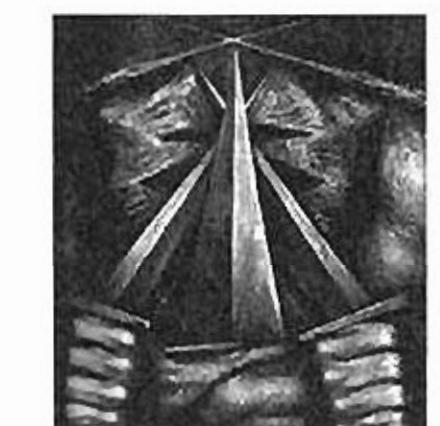


図8

丁方《刻形的意思·之二》油彩、1986年
出典:高名路著『'85美術運動歴史資料集編』
(広西師範大学出版社、2008年1月)

- 1989 1 · 星星十年展(漢雅軒、香港・台北 / Musée d' Art Contemporain de Dunkerque, France/ Festival d' Automne de Paris, la chapelle de la Salpêtrière, Paris)。
- 2 · 中国現代芸術展(中国美術館、北京)。【図 10】 *唐宋、肖魯が電話ボックスを模した彼らの作品《対話》に向かって実弾を発射し、逮捕される。この事件により展覧会は公安当局から中止を命じられ 5 日間閉館。再開後、北京公安局、中国美術館に美術館の爆破予告があったため再び 2 日間閉館に。【図 11】 *黄永砦、顧德新、触覚小組、王廣義、張培力、張曉剛、丁乙。
- 4 · 中国現代芸術資料展(90 年代に向けて 1980-1989)(ギャラリイ K / コバヤシ画廊)。*張培力、王廣義、丁乙、王魯炎、黄永砦。
- 5 · 第 7 回全国美術展。*王廣義 3 等賞受賞。
- 5 · Magiciens de la Terre (Centre Georges Pompidou, Paris)。*中国現代美術の存在を世界に知らしめた展覧会のひとつ。*黄永砦が、国際的にデビューし、そのままフランスにとどまる。*顧德新、黄永砦。【図 12】
- 6 · 六四天安門事件(第二次天安門事件 1989 年 6 月 4 日)。民主化を求めるデモ隊と軍や警察との衝突。多数の死傷者を出した。北京に戒厳令。
- 6 · 江沢民、共産党中央総書記に就任。
- 7 · 中國現代美術「今」展(特別展示)(東京画廊)。*王廣義。
- 7 · 第 3 回アジア美術展(日常のなかの象徴性)(福岡市美術館)。
- 王廣義が、「工業用速乾性オイルで覆われた名画」(cat.nos.10-14)のシリーズを制作。
 ★昭和天皇崩御
 ★ベルリンの壁崩壊
 ★Against nature (Japanese art in the eighties), A primal spirit (ten contemporary Japanese sculptors)全米巡回
-
- 1990 3 · 新刻度小組《解析》作品討論会。*北京美術批評家 9 人参加。
- 3 · 栗憲庭が、「ポリティカル・ポップ(政治波普)」概念を生み出す。
- 6 · 新刻度小組《解析》作品(I)展(新刻度小組工作室、北京)。
- 7 · Chine demain pour hier (Pourrières, Aix-en-Provence, France)。*フランス在住の費大為が中国国外で初めて開催した中国現代美術展。この展覧会に出品された作家たちの中から 5 名セレクトして開催したのが 1991 年 8 月の非常口展。
- 10 · 上海証券取引所の設置。12 月に営業開始。
- 11 · 馬徳升、黃銳、王克平展(漢雅軒、台北、台湾)。
- ★東西ドイツ統一
 ★バブル経済崩壊
-
- 1991 3 · アジアの波(中国)(東京画廊)。
- 5 · 張培力和耿建翌近作展(芸術晩会)(外交人員大酒家、北京)。
- 8 · 中国前衛美術家展(非常口 1・2)(三菱地所アルティアム、香椎操車場跡地、福岡)。*日本で初めて中国現代美術を本格的に紹介した展示として反響を呼ぶ。*黄永砦、新刻度小組。【図 13】
- 11 · 車庫'91 展(“当面経験”的現実)(上海教育会堂岳阳路 1 号)。*張培力。
 · 方力鈞・劉輝二人展(北京)。
 · I Don't Want to Play Cards With Cézanne' and Other Works (Selections from the Chinese "New Wave" and "Avant-Garde" Art of the Eighties) (The Pacific Asia Museum, California)。
 *王廣義、張培力、張曉剛。
 · 張培力が、《ドキュメント : 衛生 No.3》(cat.no.20)を制作。
 · 丁乙が、《十示 1991-3》(cat.no.22)を制作。
 · 張曉剛が、《手記 : 三号之一、二、三、四、五》(cat.no.26)を制作。
 · 方力鈞が、この頃に《シリーズ 1 No.7》(cat.no.30)を制作。
 ★湾岸戦争勃発。多国籍軍がイラクを空爆する。
 ★ソ連崩壊。
-
- 1992 1 · 鄧小平の「南巡講話」。
- 6 · 宇宙樹を探せ(アジア現代美術への旅)(埼玉県立近代美術館)。
- 8 · レジスタンス展(ワタリウム美術館)。*黄永砦。
- 10 · 天皇・皇后が初めて中国を訪問。
 · 韓国と国交樹立。
- 社会主義市場経済を宣言。
 · 方力鈞・劉輝油絵展(北京芸術博物館、北京)。
 · 王廣義が、《大批判 : 尼康》(cat.no.15)《大批判 : 邦迪》(cat.no.16)を制作。
 · 丁乙が、《十示 1992-20》(cat.no.23)を制作。
 · 方力鈞が、この頃に《シリーズ 2 No.2》《シリーズ 2 No.3》《シリーズ 2 No.8》(cat.nos.31-33)を制作。
 ★民生インターネットの実用化
 ★第 1 回 NICAF
-
- 1993 1 · 後八九中国新芸術(CHINA'S NEW ART, POST-1989)展(香港・漢雅軒ギャラリー)。*第二次天安門事件以降の動向を紹介。「シニカル・リアリズム」「ポリティカル・ポップ」の作品に注目が集まる。*王廣義、張曉剛、方力鈞、張培力、顧德新、丁乙、新刻度小組【図 14】
- 1 · China Avant-garde(Kunsthal Rotterdam, Rotterdam/ The Museum of Modern Art, Oxford/ Kunsthallen Brandts Klædefabrik, Odense)。*黄永砦、王廣義、方力鈞、張培力、顧德新、丁乙。
- 2 · 蔡國強《万里の長城を一万メートル延長するプロジェクト》(万里の長城最南西端 嘉峪関以西の砂漠)。
- 3 · 江沢民、国家主席に就任。
- 6 · 第 45 回ヴェネツィア・ビエンナーレ。*王廣義、丁乙、方力鈞など 14 作家の作品が「中国の新絵画」として紹介される。
- 9 · 第 1 回アジア太平洋現代美術トリエンナーレ。*丁乙。
- 11 · 第 14 期三中全会にて「社会主義市場経済体制確立」の決定が採択される。
- 11 · 中国の美術家集団・任戻らの「新歴史グループ」《太陽 100》。*毛沢東生誕 100 年を記念した記念行動(~12 月)。
- 11 · 星星 15 年展(東京画廊)。
- 張洹、馬六明ら北京の郊外に、アーティスト・コミュニティを作る。後に「東村」と名づけた。【図 15】
 · ポスト'89 中国新芸術(香港大會堂展示ホール / 香港アート・センター・バー・オ・ギャラリー、香港)。*張培力、方力鈞。
 · Gu dexin 10.6.1993 展(Galerie Arnaud Lefevre, Paris, France)。
 · 黄永砦が、《108 枚のカード》(cat.no.07)を制作。
 · 張曉剛が、《血縁: 母子(若い娘としての母と画家)》《血縁: 大家庭(ファミリー・ポートレイト《全家福》)》(cat.nos.27-28)を制作。
 · 馬六明が、《芬 - 馬六明》(cat.no.39)を制作。
 · 方力鈞が、《1993 No.11》(cat.no.34)を制作。
 ★非自民連立政権樹立
 ★皇太子成婚
 ★J リーグ開幕
 ★第 1 回 NIPAF
-
- 1994 1 · 亜細亞散歩(東アジア現代美術作家展)(資生堂ギャラリー)。
- 5 · 張洹が、《12 m》(cat.no.43)のパフォーマンスを行う。
- 6 · 張洹が、《65KG》(cat.no.44)のパフォーマンスを行う。
- 9 · アジアの創造力(ASIAN ART NOW)(広島市現代美術館)。
- 9 · 第 4 回アジア美術展(時代を見つめる眼 : 多様な現実の諸相)(福岡市美術館など巡回)。*方力鈞。
- 10 · 第 22 回サンパウロ・ビエンナーレ。
 *張曉剛は、銅賞を受賞。*方力鈞、王廣義、張曉剛。
- 10 · '94 北京国際交感芸術祭(中国・韓国・日本)(首都師範大学美術館、北京)。
 *中国・韓国・日本の 3 国合同による初めての文化交流展。1993 年に韓国の京畿道アートセンターで、1995 年 7 月にキリンプラザ大阪と 8 月に東京の国際交流フォーラムで開催。*王廣義、顧德新。
- 長江三峡ダム着工。
 · 新中国美術(漢雅軒、台北、台湾)。*方力鈞。
 · 中国文化祭—星星記念展(モダニズム文化センター、フランクフルト)。
 · 曾小俊・艾未未・徐冰編『紅旗』第一輯(黒表紙)が出版される。*中国現代美術の学術的内部資料を扱った、いわゆる地下出版。馬六明、張洹、張培力、方力鈞などが掲載されている。
 · 馬六明が、《芬・馬六明の午餐 I, II》(cat.nos.40-41)のパフォーマンスを行う。
 ★ファーレ立川竣工
 ★第 1 回 VOCA 展(新しい平面の作家たち)(上野の森美術館)
 ★戦後日本の前衛美術(横浜美術館)

★「昭和 40 年会」結成

- 1995 1 ・張洹・馬六明が、《第三種接觸》のパフォーマンスを行う。
1 ・幸福幻想〈アジアの現代美術作家たち〉(国際交流フォーラム)。*方力鈞。
3 ・洋上の宇宙 アジア太平洋の現代アート(第30回今日の作家展)(横浜市民ギャラリー)。
3 ・馬六明が、《芬・馬六明と魚》のパフォーマンスを行う。
4 ・第4回アジア美術展〈時代を見つめる眼:多様な現実の諸相〉(世田谷美術館)。
*方力鈞。
4 ・張洹が、《直径二十五ミリメートル》のパフォーマンスを行う。
5 ・李登輝総統(台湾)の訪米に、中国が抗議。
6 ・第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ。*張曉剛。
8 ・「三人連合工作室」(隋建国・展望・于凡)による第1回展(中央美術学院の廃墟)。
9 ・第2回三人連合工作室展〈女人・現場〉(北京当代美術館)。*世界女性会議(北京)の最終日にぶつけて開催。【図16】
9 ・第1回光州ビエンナーレ(光州、韓国)。*方力鈞。
9 ・中国写真家3人展(東京画廊)。

・Configura 2, Dialog der Kulturen(Galerie am Fischmarkt, Erfurt, Germany)。*張洹、初の海外展。*新刻度小組《解析 V》。
・China, Artistic Avant-garde Movements(Centro d'Art Santa Monica, Barcelona)。*張培力、方力鈞、新刻度小組《解析 IV》。
・曾小俊・艾未未編『紅旗』第二輯(白表紙)が出版される。*丁乙、馬六明、張洹、張培力などが掲載されている。
・新刻度小組が解散を宣言する。
・東村芸術村のアーティストたちが、《ナイン・ホールズ & 無名山を1m高く》《オリジナル・サウンド》のグループ・パフォーマンスを行う(北京)。
・張曉剛が、《血縁:大家庭之四》(cat.no.29)を制作。
★阪神・淡路大震災
★地下鉄サリン事件
★養老天命反転地開園(岐阜県養老町)
★東京都写真美術館、東京都現代美術館開館

- 1996 1 ・asian view エイジアン・ビュー〈躍動するアジア〉(東京都写真美術館)。
1 ・CHINA〈ZEITGENÖSSISCHE MÄLEREI〉(Kunstmuseums Bonn, Bonn)。
*方力鈞、王廣義、張曉剛、丁乙。*他の中国人作家に蔡國強。
3 ・日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル(NIPAF)'96(国際交流基金フォーラム、東京)。*栗山明(ギャラリーQ)の招聘によって、馬六明が来日。
4 ・大衆様板展(北京芸術博物館画廊)。
5 ・榮榮、写真雑誌『新撮影』を創刊。
5 ・馬六明が、《フィッシュ・チャイルド》(cat.no.42)のパフォーマンスを行う。
5 ・丁乙十年回顧展(1996-2006)(ShanghART Gallery, Beijing)。
9 ・第2回アジア太平洋現代美術トリエンナーレ。*王廣義、張曉剛。
10 ・火の起源と神話(日中韓のニューアート)(埼玉県立近代美術館)。
11 ・方力鈞《物語なき時代の人間像》(国際交流フォーラム)。
12 ・首届当代芸術学術邀請展'96 - '97(中国美術館、北京 / 首都師範大学美術館、北京 / 香港芸術中心)。*張曉剛、王廣義、張培力。

・この年、集中的に中国キッチュの美術展が開催される。【図17】
・現象と映像'96 ビデオ・アート展(杭州、浙江省)。*楊振中、楊福東。
・ShanghART Gallery(香格納画廊)が、オープンする。
・張培力が、《いいようのない快感》(cat.no.21)を制作。
・顧德新が、《1996年8月24日》(cat.no.38)を制作。
・方力鈞が、《1996 No.1》(cat.no.35)を制作。
★初の小選挙区総選挙

- 1997 1 ・亜細亜散歩(Promenade in Asia)(資生堂ギャラリー)。*黃永砕。
2 ・鄧小平、死去(享年93)。
2 ・デ・ジェンダリズム〈回帰する身体〉(世田谷美術館)。*馬六明。
3 ・不易流行〈中国現代美術と身の周りへの眼差し〉(キリンアートスペース原宿、キラシプラザ大阪、三菱地所アルティアム)。*張培力。
4 ・中国現代美術'97(ワタリウム美術館)。*張洹が日本でパフォーマンスを行った。
6 ・香港がイギリスから返還される。



図9

徐冰《祈世經》木版水印、1988年
出典:呂澎著『20世紀中国芸術史』
(北京大学出版社、2006年12月)



図10

『中国現代芸術展』パンフレット表紙
出典:『中国現代芸術展』
(中国美術館、1989年2月)



図11

唐宋・肖魯「銃撃事件」パフォーマンス、1989年
出典:魯虹著『越界 中国先鋒芸術 1979-2004』
(河北美術出版社、2006年1月)



図12

『Magiciens de la Terre』展のカタログ表紙
出典:『Magiciens de la Terre』
(Centre Georges Pompidou, Paris, 1989年5月)



図13

『中国前衛美術家展〈非常口 1〉』会場入り口パネル
出典:『MITSUBISHI-JISHO ARTIUM EXHIBITIONS APR1991-MAR1993』vol.2
(三菱地所アルティアム、1994年)

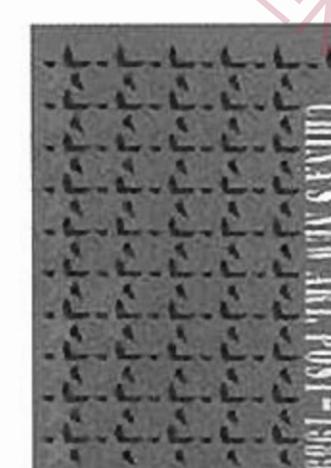


図14

『後八九中国新藝術〈CHINA'S NEW ART, POST-1989〉』展のカタログ表紙
出典:『後八九中国新藝術〈CHINA'S NEW ART, POST-1989〉』
(香港・漢雅軒ギャラリー、1993年1月)



図15

「北京東村」の風景写真 撮影:RongRong & Inri
出典:『RongRong & Inri Tui-Transfiguration』展
カタログ
(Timezone8 Ltd., 2004年)

- 6 ・アジア美術の新世代〈福岡市美術館所蔵〉(米子市美術館などを巡回)。*張曉剛、方力鈞。
- 7 ・China Now〈開放に向け加速する作家たち〉(キリンアートスペース原宿、渋谷パルコスクエア7、キリンプラザ大阪)。*王廣義、張曉剛。
- 8 ・'97中国录像藝術視摩展(中央美術学院画廊、北京)。*張培力、楊振中。
- 8 ・張洹が、《池の水位を上げる》(cat.no.45)のパフォーマンスを行う。
- 9 ・ZEITGENÖSSISCHE FOTOKUNST AUS DER VOLKSREPUBLIK CHINA(Neuer Berliner Kunstverein/Städtische Kunstsammlungen Chemnitz/Kunsthalle Darmstadt)。
*顧德新、楊振中。
- 9 ・第2回光州ビエンナーレ。*黃永砦。
- 11 ・広東美術館(Guangdong Museum of Art)が広州に開館。
・曾小俊・艾未未編『紅旗』(灰色表紙)が出版される。
・丁乙が、《十示 1997-B21,B22,B23,B24》(cat.no.24)を制作。
★ペルー日本大使館人質占領事件
★世界初のクローン羊が誕生
★宮崎駿「もののけ姫」

- 1998 3 ・「世紀・女性」芸術展(北京)。*4部構成〈歴史と回顧〉〈理想と現実〉〈自身と環境〉〈延続と演進〉で同時開催。
- 9 ・Inside Out〈New Chinese Art〉(Asia Society Galleries, New York/P.S.1 Contemporary Art Center, New York/その他、アメリカを始めアジアの主要都市を巡回)。*張洹は、この展覧会を契機に国際的に活躍を始める。
*張曉剛、馬六明、張洹。
- 10 ・比翼芸術中心(Bizart Art Space)がオープン。*代表者: Mr.Davide Quadrio1、徐震。
- 11 ・江沢民が来日する。「平和と発展のための友好協力パートナーシップ」の共同宣言発表。
★長野冬季オリンピックの開催
★インドとパキスタンが核実験
★環境ホルモンが社会問題に

- 1999 1 ・Post-Sense Sensibility〈Alien Bodies & Delusion〉(ShanghArt Gallery, Beijing)。*展覧会 Post-Sense Sensibility シリーズのプロジェクトを通して、ライブ・アートが興隆する。*楊福東、孫原。
- 3 ・第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999(第5回アジア美術展)(福岡アジア美術館)。*張培力の《いいようのない快感》が出品された。
- 4 ・法輪功中南海包囲事件。
- 4 ・廈門密輸事件摘発。
- 4 ・超市展(上海広場)。*楊振中と徐震が企画。*楊振中、徐震、楊福東。
- 4 ・Global Conceptualism: Points of Origin 1950s-1980s(Queens Museum of Art, New York, /Walker Art Center, Minneapolis/ Miami Art Museum, Miami)。*黃永砦、張培力。
- 5 ・酚苯乙烯〈POLY PHENOLRENE〉展(中山公園西南院、北京)。*顧德新。
- 5 ・跨世紀彩虹〈艶俗芸術〉展(泰達当代芸術博物館、天津)。*廖斐、栗憲庭の企画。この展覧会で初めて「絶俗芸術」という用語が使われた。
- 6 ・第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ。*蔡國強が《ヴェツィチアの収租院》【図18】で国際賞受賞。*馬六明、張洹などの中国人作家が参加。*黃永砦は、フランス代表として出品。
- 7 ・パサージュ〈フランスの新しい美術〉(世田谷美術館などを巡回)。*黃永砦。
- 9 ・第3回アジア太平洋現代美術トリエンナーレ。*張曉剛。
- 10 ・黃永砦〈2000年-2046年の旅行指南〉(現代美術センターCCA北九州)。
- 11 ・愛〈中国現代写真&ビデオ〉(中央美術学院画廊)。*徐震、楊福東。
- 12 ・マカオが返還される。
★日の丸、君が代の法制化
★EU共通通貨ユーロ誕生
★日本初の臓器移植
★セゾン美術館閉館
★福岡アジア美術館開館
★東京芸術大学に先端芸術表現科新設

- 2000 1 ・予兆〈アジアの映像芸術展〉(国際交流基金フォーラム)。

- 1 ・顔〈絵画を突き動かすもの〉(国立西洋美術館などを巡回)。*張曉剛、方力鈞。
- 3 ・第3回光州ビエンナーレ。*張曉剛、馬六明。
- 3 ・DEMAND FOR ARTISTIC FREEDOM〈要芸術自由・星星20年〉(東京画廊)。
- 4 ・現代中国の美術〈中国第9回全国美術展受賞優秀作品による〉(福岡アジア美術館などを巡回)。
- 6 ・第5回リヨン現代美術ビエンナーレ。*張洹、孫原、彭禹。
- 8 ・第1届開放芸術平臺〈行為芸術〉(懷柔県西四渡河の渡暇村の農家、北京)。
*中国内外15人のアーティストを集めたパフォーマンス・アート・フェスティバル。企画実行は、朱冥・陳進・舒陽。
- 9 ・見えない境界 变貌するアジアの美術〈光州ビエンナーレ2000〈アジア・セクション〉日本巡回〉(宇都宮美術館などを巡回)。*馬六明、張曉剛。
- 9 ・釜山ビエンナーレ2000。*曹斐。
- 10 ・第3回上海ビエンナーレ。*中国発の国際展。
- 11 ・不合作方式〈FUCK OFF〉展(東廊画廊、上海)。*艾未未と馮博一企画による上海ビエンナーレの外郭展。*曹斐、丁乙、顧德新、孫原+彭禹、徐震、楊福東、楊振中。【図19】
- 11 ・異常与日常〈当代芸術展〉(上海)。*顧振清企画の上海ビエンナーレ外郭展。
- 11 ・有効期展。*上海アーティスト独自企画の上海ビエンナーレ外郭展。
- 11 ・顧德新2000.8.11展(藏酷新媒体芸術空間、北京)。

- 2001 4 ・新形象 Towards a New Image〈Twenty Years of Contemporary Chinese Painting〉(中国美術館、北京 / 上海美術館、上海 / 四川省美術館、成都 / 広東省美術館、広州)。*方力鈞、王廣義、張曉剛、丁乙。
- 6 ・「上海協力機構」(SCO)設立宣言。
- 6 ・第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ。*徐震が、平手打ちにより背中を変色させる暴力的な映像作品《レインボー》により国際的な注目を集めます。
- 7 ・2008年の北京オリンピック開催が決定する。
- 7 ・中日善隣友好協力条約に調印。
- 7 ・江澤民「三つの代表」講話。
- 8 ・西蘇州河路1133号倉庫の共同アトリエ、市政府により閉鎖され、莫干山路50号に移転。
- 8 ・亞細亞散歩(AFTER KITSCH) (資生堂ギャラリー) / 亞細亞散歩(CUTE) (水戸芸術館現代美術ギャラリー)。
- 9 ・横浜トリエンナーレ2001。*楊福東が日本で広く知られるきっかけとなる。*黃永砦、張洹、丁乙、楊福東、孫原+彭禹。
- 9 ・第7回イスタンブル・ビエンナーレ。*馬六明、楊福東。
- 10 ・蔡國強が、APEC会議(上海)開幕式で火薬爆破パフォーマンス。19分間に16万発のロケット花火を打ち上げた。
- 11 ・ファンタジア〈アンダー・コンストラクション〉(スペースimA、ソウル、韓国)。*主催=イルミン美術館、国際交流基金。*楊振中。
- 12 ・世界貿易機関(WTO)に加盟。
・香港にAsia Art Archive Ltd.が設立される。*非営利公益法人。*最初のアジア現代美術専門のリサーチセンター。図書室などは2003年3月より一般公開。
★第1回横浜トリエンナーレ
★せんだいメディアテーク開館
★国立美術館、博物館の独立行政法人化

- 2002 3 ・狂想曲(ファンタジア)〈アンダー・コンストラクション〉(遠洋芸術センター、北京)主催=国際交流基金、遠洋芸術センター。*楊振中。
- 3 ・第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002(福岡アジア美術館)。
- 4 ・日本・中国・韓国の現代美術(大阪府所蔵作品・大阪トリエンナーレコレクションによる) (大阪府立現代美術センター)。
- 6 ・今日美術館(Today Art Gallery)が北京にオープン。*中国のWTO加盟以降、最初に設立された国際的な私設ギャラリー。*代表者:張宝全。
- 6 ・ドクメンタ11(カッセル、ドイツ)。*楊福東は76分の大作《見知らぬ天国》を出品、多いに注目を集めた。
- 7 ・趣味過剰(中国当代芸術展)(3H芸術中心、上海 / 客芸廊前衛館、シンガポール)。*顧德新、徐震。
- 11 ・新型肝炎SARSが広東省で発生。*これにより、中国のヴェネツィア・ビエンナーレ参加もキャンセルになった。
- 11 ・第1回広州トリエンナーレ(広州、中国)。*黃永砦、王廣義、張曉剛、方力鈞、

新刻度小組、顧德新、張洹、馬六明、楊福東、丁乙、張培力、楊振中、楊福東、孫原、徐震、曹斐。

- 11・第4回上海ビエンナーレ(上海美術館)。*楊振中は、この頃から国際展への出展が続く。
- 11・範珍珠と範明珠展。*上海ビエンナーレと同時期に楊振中、徐震、楊福東らによって行われた自主企画展。中国全土の重要な作家が多数参加した。
- 12・アンダー・コンストラクション〈アジア美術の新世代〉(東京オペラシティアートギャラリー)。*楊振中。
- ・2010年の上海万博開催決定。
- ・北京東京芸術工程(Beijing Tokyo Art Projects)がオープン。
＊代表者：田畠幸人。
- ・維他命芸術空間(Vitamin Creative Space)が広州にオープン。
＊代表者：張巍巍。
- ・798廠(旧国営工場跡地のアート・ビレッジ)が北京にできる。【図20】
- ・「長征(ロングマーチ)」アート・プロジェクトがスタート。盧杰と邱志杰らの主導のもと、かつて紅軍が行軍した江西省瑞金から陝西省延安までの二万五千里(10万キロ)を、様々なアート活動を行いながら進む。2003年には拠点を北京に移した。
- ・A Young Man(Bizart Art Center、上海)。*徐震などが共同運営するアートセンターで行われた個展。
- ・MAAP アジア・ニュー・メディア展。*新しいメディア・アートの躍進。
- ・王廣義が、《唯物主義者》(cat.nos.17-18)を制作。
- ・曹斐が、《ラビッド・ドッグス》(cat.no.49)を制作。
- ★田中耕一がノーベル化学賞受賞



図16

『第2回三人連合工作室展〈女人・現場〉』の展示風景
出典：牧陽一著『アヴァン・チャイナー中國の現代アート』
(木穂社、1998年9月)



図17

棒振杰《浪漫旅程》油畫、1999年
出典：呂澎著『20世紀中国芸術史』
(北京大学出版社、2006年12月)



図18

蔡國強《ヴェネチアの収租院》1999年
撮影:Elio Montanari
出典：牧陽一著『中国現代アート 自由を希求する表現』
(講談社、2007年2月)



図19

瀟昱《鴉ruan》1999年
出典：『不合作方式〈FUCK OFF〉』展カタログ
(東廊画廊、2000年11月)



図20

大山子藝術区 798
出典：『798 A PHOTOGRAPHIC JOURNAL BY ZHU YAN』
(Timezone8 Ltd., 2004年)



図21

『Mahjong』展のカタログ表紙
出典：『Mahjong 麻将〈Contemporary Chinese Art from the Sigg Collection〉』
(Kunstmuseum Bern, 2005年6月)



図22

『HOUSE OF ORACLES』展のカタログ表紙
出典：『HOUSE OF ORACLES 占卜者之屋
(Walker Art Center, 2006年10月)

- 2003 2・二万五千里文化伝播中心(2005 Cultural Transmission Center)がオープン。*ロングマーチの拠点となる。代表者：盧傑。
- 2・サイバー・アジア(メディア・アートの近未来形)(広島市現代美術館)。
- 7・念珠与筆触展(北京東京芸術工程・大山子芸術西区)。*発起人は、東京画廊の田畠幸人。*丁乙。
- 7・越後妻有トリエンナーレ 2003(大地の芸術祭)。*楊振中。
- 9・第1回北京国際ビエンナーレ(中国美術館など)。*中国国内から154人、海外45ヶ国から172人が出品。
- 9・另一种现代性(中国当代芸術展)(北京犀銳芸術中心、北京)。*楊福東。
- 9・二手現実・前現実・后現実(今日美術館当代芸術展)(今日美術館、北京)。
＊顧德新、孫原+彭禹、徐震、楊振中。
- 9・左手与右手(中、德当代芸術联展)(時態空間など、北京大山子芸術区)。
＊ドイツ作家18名、中国作家32名が出品。*顧德新。
- 9・徐冰展(第14回福岡アジア文化賞受賞記念)(福岡アジア美術館)。
- 10・ハピネス(アートにみる幸福への鍵)(森美術館)。*楊福東、張培力。
- 12・左翼(中国当代芸術展)(左岸工社、北京)。*黃永砕、方力鈞、顧德新、楊福東、孫原+彭禹、曹斐。
- 12・上海市政府が初めて援助した現代美術館、上海多倫現代美術館が開館。
- ・798時態空間(798 Space)がオープン。*代表者：徐勇。
- ・曹斐が、《ヒップ・ホップ広州》(cat.no.50)を制作。
＊イラク戦争でフセイン政権崩壊
＊六本木ヒルズ、汐留シオサイトのオープン
＊森美術館開館
＊山口情報芸術センター開館
＊芦屋市立美術博物館の経営危機表面化と指定管理者制度への関心の高まり

- 2004 2・Zooming into Focus(ホーデンスチャイルド・コレクションによる中国現代美術)展(上海美術館)。*海外の中国現代美術コレクションを中国国内の美術館で初めて展示した。
- 3・Out the Window(Spaces of Distraction)(Project space Zip, seoul, Korea)。*楊福東、曹斐。
- 4・上海市政府、今後5年で100の美術館・博物館建設を発表。
- 4・大山子芸術新区二〇〇三総合芸術活動「回音」。*以後、当代国際芸術節(Beijing Dangdai International Art Festival: DIAF)として毎年開催される。
- 6・Between Past and Future(New Photography and Video from China)(International Center of Photography/ Asia Society, New Yorkなど)を巡回)。*顧德新、馬六明、楊福東、楊振中、孫原、徐震、曹斐。
- 8・釜山ビエンナーレ 2004。*楊福東。

- 9 · 蔡國強プロデュース「一八人の作家によるトーチカ芸術館」(金門島)。
9 · 第4回リバプール・ビエンナーレ。*楊福東、黃永砦。

★陸上自衛隊のイラク・サマワ地区への派兵
★金沢'21世紀美術館開館

- 2005 3 · 秘すれば花(東アジアの現代美術)(森美術館)。
4 · 中国国際画廊博覧会(CIGE)が北京でスタート。
5 · イタリアの常青画廊(GALLERIA CONTINUA)が北京の大山子798にオープン。
6 · 上海証大現代芸術館がオープン。
6 · Mahjong 麻将(Contemporary Chinese Art from the Sigg Collection) (Kunstmuseum Bern, Bern)。*王廣義、張培力、黃永砦、方力鈞、張曉剛、張洹、楊振中、顧徳新、丁乙、馬六明、孫原+彭禹。徐震。【図21】
7 · フォロー・ミー!新しい世紀の中国現代美術(森美術館)*曹斐、徐震、楊福東、楊振中。
8 · "70后"芸術(市場改变中国之后的一代)展(今日美術館、北京)。*孫原+彭禹、曹斐。
9 · 上海当代芸術館 The Museum of Contemporary Art Shanghai (MOCA Shanghai)が開館。
9 · 横浜トリエンナーレ2005。*ロングマーチに徐震が参加。
9 · 第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005(福岡アジア美術館)。*曹斐は、アーティスト・イン・レジデンスで《ヒップホップ福岡》を制作し、日本で大々的に紹介される。
11 · 第2回広州トリエンナーレ。*曹斐は、《珠三角梶雄伝(珠江デルタ・アンチヒーローズ)》で広く注目を集めた。
11 · 皮力がUniversal Studios Beijingを北京草場地にオープン。*以後、草場地芸術区が発展。
12 · 現代中国の美術(中国第10回全国美術展受賞優秀作品による)(茨城県近代美術館などを巡回)。
· 楊振中が、《アイ・ウィル・ダイ》(cat.no.47)の制作を完成させる。
· 徐震が、《最後に残ったわずかな蚊》(cat.no.51)を制作。
★耐震強度偽装事件
★九州国立博物館が開館

- 2006 1 · EXPERIMENTA VANISHINGPOINT(Where creativity and technology meet)(CAST Gallery, North Hobartなどを巡回)。*楊振中。
2 · 陳箴展(上海美術館)。*《Gaming Table》で中国当局の怒りを買ってから約10年、市による個展開催は初めて。陳箴は2000年12月パリで逝去(享年45)。
3 · ニューヨークのサザビーズが「中国・韓国・日本の現代美術」部門のオークションを開催。*張曉剛の作品が、日本円にして1億円を突破。
5 · クリストイーズが香港で「アジア・コンテンポラリー」オークションを開催。*蔡國強の作品が、695万香港ドル(約1億円)で落札された。
7 · 張曉剛展(トーキョーワンダーサイト渋谷、東京)。
8 · 中国現代芸術展(ABSOLUTE IMAGES Chinese Contemporary Art) (ARARIO BEIJING)。*方力鈞、王廣義、張曉剛。
9 · 第6回上海ビエンナーレ2006。*丁乙。
9 · 入境:中国美学(上海当代芸術館文献展)(上海当代芸術館)。*楊福東、丁乙。
9 · Yang Zhenzhong (Ikon Gallery, Birmingham)。*楊振中。
10 · HOUSE OF ORACLES 占卜者之屋(A HUANG YONG PING RESTROSPECTIVE) (Walker Art Center, Minneapolis, Minnesota / MASS MoCA, North Adams, Massachusetts)。*黃永砦。【図22】
11 · 恒動(当代芸術対話)展(上海当代芸術館)。*方力鈞、張曉剛、王廣義、丁乙、楊福東。
· Siemens Arts Programme(What Are You Doing Here?)(Fu Shan OSRAM factory, 広州) *曹斐は、広東省の電球工場での半年間にわたるプロジェクト《What Are You Doing Here?》を制作。後の《Whose Utopia》につながる作品となる。
· 楊福東が、《断橋無雪》(cat.no.48)を制作。
★ライブドア事件
★「ダ・ヴィンチ・コード」旋風

- 2007 1 · China Now(Faszination einer Weltveränderung / Fascination of a Changing World)(Sammlug Essl Privatstiftung, Klosterneuburg, Wien) *方力鈞、王廣義、張曉剛、馬六明、張洹。
2 · 中国第1回司法保真書画拍賣会。*北京和暢國際オークション主催。作者と収藏者の権益を法的に守るという趣旨で開催された。
3 · The Real Thing (Contemporary Art from China) (Tate Liverpool, London)。*出品作家の徐震自身が、キュレーションも行った。*顧徳新、楊福東、徐震、曹斐。
4 · 徐悲鴻《鞭を放せ》(油彩)が、サザビーズ・香港のオークションで、中国美術オークション史上最高値の7200万香港ドル(11億円)を記録した。
6 · 第52回ヴェネツィア・ビエンナーレ。*楊振中が、《アイ・ウィル・ダイ》を出品。*楊福東は、《竹林の七賢人》5部作をすべて公開した。*曹斐は、中国が初めて公式に参加したビエンナーレで代表作家となる。セカンドライフ内の空間を用いた《チャイナ・トレーシー・パビリオン》を発表。
6 · ドクメンタ12。*艾未未が1001名の中国人を連れて参加し話題になった。
8 · TALKING PICTURES(THEATRICALITY IN CONTEMPORARY FILM AND VIDEO ART) (K21 Kunstsammelung Nordrhein-Westfalen, Düsseldorf)。*楊福東。
9 · 上海にてアートフェア「ShContemporary」が開催される。*世界レベルのアートフェアとして評価される。
9 · Zhang Huan: Altered States(Asia Society and Museum New York, New York)。*張洹の回顧展。
10 · Tomorrow(Kumho Museum Of Art/Artsonje Center, Seoul, Korea)。*曹斐、徐震。
11 · Ullens Center for Contemporary Art(UCCA)が大山子798にオープン。*館長に費大為を迎える。
11 · '85 New Wave(The Birth of Chinese Contemporary Art) (Ullens Center for Contemporary Art, 北京)。*王廣義、張培力、丁乙、触覚小組、新刻度小組、張曉剛、黃永砦、顧徳新。
11 · クリストイーズ・香港が「アジアの現代美術」を開催。*蔡國強《APEC 景觀焰火表題十四幅草図》が、74,247,500香港ドル(約10億3426万円)を記録した。
· 孫原+彭禹が、《老人ホーム》(cat.no.46)を制作。
★新潟県中越沖地震
★国立新美術館開館、サントリー美術館が六本木に移転

- 2008 2 · CHANEL MOBILE ART(香港などを巡回)。*日本では5月に国立代々木競技場にパビリオンを設置し開催。*楊福東。
2 · 液晶絵画 Still/Motion(国立国際美術館などを巡回) *楊福東
4 · 「MIZUMA & ONE GALLERY」(中国名:三潴画廊)が北京の草場地芸術区にオープン。
5 · 四川大地震が発生。
5 · 上海美術館コレクション1979-2007(日中友好会館美術館)。*方力鈞、張曉剛。
8 · 北京オリンピック。*アーティスティック・ディレクターは、蔡國強。メインスタジアムの設計を艾未未が、ヘルツォーク&ド・ムーロンと手がける。
8 · アヴァンギャルド・チャイナー(中国当代美術)二十年一展(国立新美術館)。
8 · In-Between(アジア・ヴィデオアート・ウィークエンド)(森美術館ギャラリー1)。*六本木ヒルズ5周年記念イベント「ASIAN Summer In Roppongi Hills」の一環として3日間開催。*曹斐。
9 · 横浜トリエンナーレ2008。*曹斐。
· 中央美術学院美術館(元・中央美術学院陳列室)が、磯崎新の設計により建てる。
· 丁乙が、《十示 2008-21》(cat.no.25)を制作。
· 徐震が、《フィットネス》(cat.no.52)を制作。